



張田緑山作

## 明治以降の輸出陶磁器を中心に展示



名古屋はかつて、海外へ輸出される陶磁器生産の一大拠点でした。特に現在の名古屋市東区には、産地である瀬戸などに近いという好立地から、多くの陶磁器工場が立ち並んでいました。各産地から運び込まれた陶磁器に絵付けを施す、上絵付作業が発達する中で、「名古屋絵付」と呼ばれる豪華で華やかな作風は、海外でも人気を博しました。

財団法人横山美術館は、明治・大正時代に制作された輸出陶磁器の“里帰り品”を中心に展示しています。名古屋周辺で制作された輸出陶磁器をはじめ、日本初の洋風陶磁器であるオールドノリタケや、まとまった作品群を目にする機会の少ない隅田焼のほか、有田焼、京焼、瀬戸焼、九谷焼、萬古焼など、息をのむほど緻密で大胆な作品の数々を、ぜひご覧ください。



錦光山宗兵衛作



肥磧山深川造



オールドノリタケ



香蘭社製



隅田焼 原嬉山作

オープン  
記念  
講演会

### 「明治・大正の輸出陶磁器—その特質と魅力—」

- ◎講師：大熊敏之氏(富山大学大学院芸術文化科学研究科教授、「開運!なんでも鑑定団」鑑定士)
- ◎日時：10月1日(日)13時30分～15時(定員60名) \*要事前申し込み、要入館料
- ◎申込方法：9月1日(金)10時よりお電話(052-931-0006)にて(先着順)

[入館料]	企画展開催時	常設展のみ開催時
一般	1,000円(800円)	700円(500円)
高・大学生・シニア 65歳以上	800円(600円)	500円(300円)
中学生以下	無料	無料

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

### [交通のご案内]

名古屋市営地下鉄東山線「新栄町」駅(1番出口) 徒歩4分  
名古屋市営地下鉄桜通線「高岳」駅(3番出口) 徒歩4分

\*専用の駐車場はございません。  
お車でのご来場の際は  
近隣の有料駐車場をご利用ください。

